

表彰制度の事例

魅力ある水辺、多様な生物、活力ある地域づくりのための表彰制度の情報を収集整理

市民活動団体（NPO や学校科学部、任意団体等）が応募できる、全国を対象とした制度を抽出

No	名称	主催	概要	区分	主体	賞金	表彰式	受賞数 /応募数
1	日本水大賞	日本水大賞 委員会 国土交通省	水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動を対象。 個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問わない。	表彰	一般	あり	あり	11/143
2	日本ストックホルム青少年水大賞	日本水大賞 委員会 国土交通省	地球温暖化により深刻化する洪水や濁水の対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活の質の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的及び応用的調査研究活動を対象。 高等学校または同等の学校（高等専門学校については1～3年生まで）に在籍している生徒または生徒の団体（クラブなど）が応募できる。	表彰	子ども	あり	あり	2/20
3	水環境文化賞児童・生徒の部（みじん子賞）	公益社団法人 日本水環境学会	地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られる。	表彰	子ども	副賞	あり	不明
4	水環境文化賞	公益社団法人 日本水環境学会	水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られる。	表彰	一般	副賞	あり	不明
5	毎日地球未来賞	毎日新聞社	「食料・水・環境」分野において、国内外で問題解決に取り組む個人・団体を讃え、世の中に広く伝えることで草の根活動を支援する。	表彰	一般	あり	あり	6/107
6	国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）	国土交通省	「循環のみち下水道」に基づく優れた取組が他の多くの団体等での取り組みにつながるよう創設	表彰	一般	なし	あり	10/34
7	全国大学生環境活動コンテスト	全国大学生環境活動コンテスト実行委員会	北海道から沖縄まで、全国で環境活動をする大学生が一堂に会するコンテスト	コンテスト	一般	あり	あり	2/25
8	地球環境大賞	フジサンケイグループ	地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の促進や、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的	表彰	一般	トヨタ	あり	10/105
9	環境賞	国立環境研究所 日刊工業新聞社	境を守り、未来につなげる調査、研究、技術・製品開発、実践活動を広く募集し、画期的な成果をあげた個人、法人、団体・グループ等に「環境大臣賞」等を授与する	表彰	一般	盾	あり	不明
10	いい川・いい川づくりワークショップ	いい川・いい川づくり実行委員会事務局	「“いい川”とは何だろう」-「川の日」ワークショップは、それを問いかけ、自由に柔らかくその答えを探っていくための公開選考会という方式のワークショップ。グランプリや入賞を選ぶ。	コンテスト	一般	副賞	あり	22/44

受賞数/応募数は過去の実績による

項目	内容
名称	日本水大賞
主催	日本水大賞委員会 国土交通省
目的	21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与すること。
対象となる活動分野	水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動で、水防災・水資源・水環境・水文化・復興といった分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象。
対象となる活動主体	学校（小中高校のクラブ活動や総合学習など、大学、専門学校）、企業、団体（NPOなど）、個人、行政
審査基準	<p>以下の項目などを基準に審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる活動が時代のニーズに適合し、緊急性が高いもの ・対象となる活動が水循環の健全化に大きく寄与し、または寄与することが期待できるもの ・対象となる活動が困難であるにもかかわらず、創意工夫を重ね、積極的に取り組んでいるもの ・対象となる活動が長年にわたり継続的に実施され、または今後とも継続的に実施されることが期待され、水循環の健全化に寄与するものとして広く認知されているもの ・その他 <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究、技術開発活動においては、対象となる活動の成果が広く社会に普及して水循環の健全化に役立つもの（いわゆる学術論文は除く） 2. 地方自治体・市民団体の活動においては、対象となる活動が地域の要望ならびに地域の特性を十分踏まえ、独創性に優れ、水循環の健全化に寄与するもの 3. 企業の製品開発や生産過程における環境対策、社会や地域への貢献活動、技術や装置などに関するビジネス活動や製品・サービスの普及努力による社会貢献や国際貢献への実績などを通じて、水循環の健全化に対して大きな効果をあげたもの 4. 国際的なNPOの連携、国際学会における活躍、海外に対する支援・協力など、国際的に大きな功績をあげたもの
表彰者の決定方法	日本水大賞委員会の下に「日本水大賞」の各賞を選考するために審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本水大賞委員会が決定。
頻度	毎年
表彰・公表	<p>表彰式の開催、賞・副賞の授与、ホームページへの掲載、公表</p> <p>[1] 大賞【グランプリ】（賞状・副賞 200万円）</p> <p>[2] 大臣賞（賞状・副賞 50万円） 【国土交通大臣賞】 【環境大臣賞】 【厚生労働大臣賞】 【農林水産大臣賞】 【文部科学大臣賞】 【経済産業大臣賞】</p> <p>[3] 市民活動賞【読売新聞社賞】（賞状・副賞 30万円）</p> <p>[4] 国際貢献賞（賞状・副賞 30万円）</p> <p>[5] 未来開拓賞（賞状・副賞 10万円）</p> <p>[6] 審査部会特別賞（賞状・副賞 10万円）</p> <p>[7] タイムリー賞</p>
URL	http://www.japanriver.or.jp/taisyo/no19/taisyo_frame.htm

項目	内容
名称	日本ストックホルム青少年水大賞
主催	日本水大賞委員会 国土交通省
目的	スウェーデンにおいては、ストックホルム水基金が、世界的に権威のあるストックホルム水大賞の一環としてストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズ（以下S JWPという）を実施している。ここでは世界各国の青少年を対象にして生活の質の向上および水環境における生態系の改善に寄与する調査研究活動を表彰している。このS JWPの国際コンテストは、ストックホルムにおいて毎年夏の世界水週間の期間中に行われ、参加各国から選出された代表者が、調査研究の成果を発表して受賞者が決定されている。日本ストックホルム青少年水大賞は、S JWPに派遣する候補を選定する。
対象となる活動分野	地球温暖化により深刻化する洪水や濁水の対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活の質の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的および応用的調査研究活動を対象。
対象となる活動主体	20歳以下、高等学校または同等の学校に在籍している生徒または生徒の団体（クラブなど）
審査基準	以下の項目などを基準に審査 【一次審査】（書面） 以下の基準に従って書面審査が行われ、上位数チームが選出される。 ・妥当性、独創性、方法論、テーマに関する知識、実用技術、報告書 【二次審査】（発表と面接） 以下の審査基準に従って、一次書面審査で選出された上位数チームに対し、2分程度の概要説明（英語）、10分程度のプレゼンテーションソフトでの発表と面接（可能であれば英語）による審査が行われる。審査地は東京（予定）で生徒2名以内、指導教諭1名の規定の旅費（遠隔地の場合は規定の宿泊費）を日本水大賞委員会が負担。 ・プレゼンテーションソフトによる発表と面接
表彰者の決定方法	水分野の専門家によって構成される審査部会において書面審査し、上位数チームが選ばれます。次にその上位数チームを対象に2分程度の概要説明（英語）、10分程度のプレゼンテーションソフトによる発表、面接（可能であれば英語）を経て、日本ストックホルム青少年水大賞候補が選ばれ、最終的に日本水大賞委員会が決定します。
頻度	毎年
表彰・公表	表彰式の開催、賞・副賞の授与、ホームページへの掲載、公表 ●大賞【グランプリ】：賞状・副賞 20万円、ストックホルム青少年水大賞国際コンテストへの参加費用 ●優秀賞：賞状・副賞 10万円 ●審査部会特別賞：賞状・副賞 10万円
URL	http://www.japanriver.or.jp/sjwp/index.htm

No.3

項目	内容
名称	水環境文化賞児童・生徒の部（みじん子賞）
主催	公益社団法人 日本水環境学会
目的	地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られる。
対象となる活動分野	地域の水環境保全・創出
対象となる活動主体	小学生，中学生もしくは高校生のグループ等
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境文化の普及に貢献していること ・活動範囲に実際の水環境が含まれていること ・活動が水環境の保全に寄与していること ・活動経歴が十分であること・活動に将来性・継続性が認められること ・参加者，支援者が多く参画していること ・社会貢献としての広がりがあること ・活動が地域に広く伝わっていること ・児童・生徒が主体的に活動していること
表彰者の決定方法	年会の開催地である支部エリアから選考
頻度	毎年
表彰・公表	学会年会にて表彰式を開催、賞・副賞の授与、ホームページへの掲載、公表
URL	https://www.jswe.or.jp/awards/mijinko/index.html

No.4

項目	内容
名称	水環境文化賞
主催	公益社団法人 日本水環境学会
目的	水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られる。
対象となる活動分野	水環境の保全・創造に関する社会文化活動
対象となる活動主体	団体あるいは個人
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境文化の普及に貢献していること ・活動範囲に実際の水環境が含まれていること ・活動が水環境の保全に寄与していること ・活動経歴が十分であること ・活動に将来性・継続性が認められること ・参加者、支援者が多く参画していること ・社会貢献としての広がりがあること ・活動が地域に広く伝わっていること
表彰者の決定方法	詳細不明
頻度	毎年
表彰・公表	学会年会にて表彰式を開催、賞・副賞の授与、ホームページへの掲載、公表
URL	https://www.jswe.or.jp/awards/bunka/index.html

No.5

項目	内容
名称	毎日地球未来賞
主催	毎日新聞社
目的	「食料」「水」「環境」の分野で、国内外の問題解決に取り組む団体や個人を顕彰する。
対象となる活動分野	「食料」「水」「環境」の分野で、国内外の問題解決に取り組む、主に市民・草の根レベルの活動
対象となる活動主体	団体、個人、高校生や大学生
審査基準	詳細不明
表彰者の決定方法	選考委員会が審査
頻度	毎年
表彰・公表	表彰式を開催、賞・賞金の授与、ホームページへの掲載、公表 毎日地球未来賞 1点=賞金 150万円 クボタ賞（特別賞）2点=賞金 100万円 次世代応援賞 1点=賞金 50万 奨励賞 2点=賞金 25万円
URL	https://www.mainichi.co.jp/event/aw/chikyumirai/

項目	内容
名称	国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）
主催	国土交通省
目的	健全な水循環、資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」のコンセプトに基づく優れた取組みに対し表彰する
対象となる活動分野	<p>1) 下水道が有する膨大なストック、水・資源・エネルギー、経験等を活かし、地球温暖化の防止、循環型社会の構築、世界の水と衛生・環境問題の解決、国際的なビジネス展開による新たな市場の開拓等、新しい価値の創造に貢献する取組み。</p> <p>2) 大規模災害（地震、津波、異常豪雨等）時においても、国民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全するため、下水道による強靱な社会の構築に貢献する取組み。</p> <p>3) 管理体制（人）、施設管理（モノ）、経営管理（カネ）の一体的マネジメントや人材の育成、技術力の維持・継承等により、下水道事業の持続に貢献する取組み。</p> <p>4) 下水道の役割、重要性、魅力、可能性等に気づき、共感し、行動してもらうための効果的な広報活動や環境・防災教育の取組み。</p>
対象となる活動主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体 ・ 民間事業者 ・ 学校、教育機関 ・ 水環境保全活動等を行っている各種 NPO、ボランティア団体、市民団体
審査基準	詳細不明
表彰者の決定方法	有識者等で構成される「循環のみち下水道賞選定委員会」において厳正な審査の上、グランプリ（最優秀賞）及び各部門賞を決定。
頻度	毎年
表彰・公表	表彰式を開催、賞状の授与、ホームページへの掲載、公表
URL	http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000339.html

項目	内容
名称	全国大学生環境活動コンテスト
主催	全国大学生環境活動コンテスト実行委員会
目的	学生環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現
対象となる活動分野	学生環境活動
対象となる活動主体	大学生・大学院生
審査基準	詳細不明
表彰者の決定方法	会場は国立オリンピック記念青少年総合センター、2日間にわたってコンテストは開催され、1日目のグループ選考、2日目の最終選考を通じて、グランプリを決定する。社会人や学生の選考委員らが質疑応答、グループディスカッション等を経て審査する。
頻度	毎年
表彰・公表	コンテストの最終日に、表彰式を開催、賞状・活動助成の授与 <ul style="list-style-type: none"> ・グランプリ 活動助成 10万円 ・準グランプリ 活動助成 5万円
URL	http://ecocon.info/2017/entry/youkou.pdf

項目	内容
名称	地球環境大賞
主催	フジサンケイグループ
目的	地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の促進や、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的。
対象となる活動分野	地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上に関わるもの
対象となる活動主体	1.企業：規模を問いません。中小規模の企業に対しては、大企業に比べて資金的、人的な違いのあることを考慮して評価します 2.自治体：都道府県市区町村 3.学校：大学、小・中・高校など（国公立私立を問いません） 4.市民グループ：環境問題に取り組む任意団体、NGO、NPO など ※個人応募は不可
審査基準	1.経済の発展と地球環境との共生に寄与している 2.持続可能な社会の実現に向けて高い環境理念や行動計画を有している 3.独創性、先導性がある 4.模範となり得る先進的な活動で地球規模の環境保全に貢献している 5.技術・製品開発で顕著な環境改善効果が期待できる 6.産学官の連携や異業種間のクラスター化などで主導力を発揮している 7.地域や社会との環境コミュニケーションの構築に積極的な役割を果たしている
表彰者の決定方法	応募内容の瑕疵や応募資格、環境・公害訴訟問題などに留意しつつ、すでに取り組みが一般化しているもの、自社事業・自社製品に関する宣伝の域を出ない内容などについて事務局が審査、「選考評価委員会」が以下の点などを考慮し審査委員会による最終審査対象案件（20～30件程度）を決定。最終審査では、持続可能な社会の実現、「経済」と「環境」の両立をめざし、環境経営、技術・製品開発、事業活動、保全活動の実績や社会への貢献度について総合評価し、各賞の受賞候補を決定。
頻度	毎年
表彰・公表	表彰式を開催、賞状・トロフィーの授与 地球環境大賞、経済産業大臣賞、環境大臣賞、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、農林水産大臣賞、日本経済団体連合会会長賞、フジサンケイグループ賞、奨励賞
URL	http://ecocon.info/2017/entry/youkou.pdf

項目	内容
名称	環境賞
主催	国立環境研究所 日刊工業新聞社
目的	環境賞は環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループ等を表彰することにより、広く環境意識の啓発を図ることを目的とする。
対象となる活動分野	環境に関する調査、研究、技術・製品開発、活動等で画期的な成果をあげ、または成果が期待されるものであって、環境賞の目的にふさわしいものとする。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 低炭素社会の構築に関するもの ◦ 生物多様性をはじめとする自然環境の保全に関するもの ◦ 循環型社会の形成に関するもの ◦ 大気環境、水環境、土壌環境等の保全に関するもの ◦ 化学物質の環境リスクの評価・管理に関するもの ◦ その他、環境保全や環境の質の向上に関するもの
対象となる活動主体	環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループ等
審査基準	詳細不明
表彰者の決定方法	書類審査、ヒアリング審査、最終審査を経て選考
頻度	毎年
表彰・公表	表彰式を開催、賞状・盾の授与 環境大臣賞、優秀賞、優良賞
URL	http://ecocon.info/2017/entry/youkou.pdf

No.10

項目	内容
名称	いい川・いい川づくりワークショップ
主催	いい川・いい川づくり実行委員会事務局
目的	「“いい川”とは何だろう」-「川の日」ワークショップは、それを問いかけ、自由に柔らかくその答えを探っていくための公開選考会という方式のワークショップ。グランプリや入賞を選ぶ。
対象となる活動分野	川を中心としたさまざまな水辺から、山や里、農業用水路や海、下水道や雨水、水循環、防災、まちづくり、福祉、教育など
対象となる活動主体	指定なし
審査基準	発想・着眼評価 関わり評価 プロセス評価 計画・技術評価
表彰者の決定方法	全体会場での全応募者一斉発表に始まり、テーマ別のテーブル選考、復活選考、会場からの意見を交えて行われる全体選考会のプログラムで実施し、選考は、実行委員会から選出された選考員（市民、行政、学識者など）が実施。
頻度	毎年
表彰・公表	ワークショップの最後に表彰式を開催、賞状・副賞を贈呈 グランプリ、準グランプリ、特別賞
URL	http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/11th_iikawa_ws/11th_yoko.pdf